新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図面名称
Ｍ－00	表紙・図面リスト
Ｍ－01	特記仕様書
Ｍ－02	衛生 器具表
Ｍ－03	配置図、桝表、凡例
Ｍ－04	衛生 系統図
Ｍ－05	衛生 １階平面図
Ｍ－06	衛生 ２～４階平面図
Ｍ－07	衛生 Ｒ階平面図
Ｍ－08	衛生 １階平面詳細図（１）
Ｍ－09	衛生 １階平面詳細図（２）
Ｍ－10	衛生 ２～４階平面詳細図（１）
Ｍ－11	衛生 ２～４階平面詳細図（２）
Ｍ－12	衛生 ＭＢ内 平面詳細図
Ｍ－13	換気 機器表、換気計算書
Ｍ－14	換気 １階平面図
Ｍ－15	換気 ２～４階平面図
Ｍ－16	消火 １階平面図
Ｍ－17	消火 ２～４階平面図

設計変更年月日	
１回	年 月 日
２回	年 月 日
３回	年 月 日

工事名：新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事

図面名：表紙・図面リスト

縮尺：A1版：一　A3版：一

設計：年 月 日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号：M／00

新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事　特記仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工事場所　佐賀県鳥栖市

2 建物概要

建物名称	構 造	階 数	延べ面積（㎡）	消防法施行令 別 表 第 一	備 考
きゅう務員宿舎Ａ棟	RC	4	1，844.49	一号	

3 工事種目及び工事科目（○印の付いたものが対象工事）

建物別及び屋外 工 事 項 目 ＼ 工 事 種 目	きゅう務員宿舎Ａ棟				屋 外
・空気調和設備		一式	一式	一式	一式
⊙換気設備	新 設	一式	一式	一式	一式
・排煙設備		一式	一式	一式	一式
・自動制御設備		一式	一式	一式	一式
○衛生器具設備	新 設	一式	一式	一式	一式
○給水設備	新 設	一式	一式	一式	一式
⊙排水設備	新 設	一式	一式	一式	一式
○給湯設備	新 設	一式	一式	一式	一式
・消火設備		一式	一式	一式	一式
・厨房機器設備		一式	一式	一式	一式
⊙ガス設備	新 設	一式	一式	一式	一式
・浄化槽設備		一式	一式	一式	一式
・撤去工事		一式	一式	一式	一式

4 指定区分　⊙無　・有（工期：令和　年　月　日　）
（一部完成）　（対象部分：　）

5 設備概要
設備概要（本工事における、工事項目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない○印のものが該当する）

方式及び種別	設 備 概 要
空 調 方 式	・空気調和　・単一ダクト方式　・全空気方式
主要熱源機器	・小型吸収冷温水機ユニット　・直だき吸収冷温水機　・空冷ヒートポンプユニット
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式
給 水 方 式	・高置タンク方式　・水道直結方式　⊙ポンプ直送方式
排 水 方 式	建物内の汚水と雑排水（ ○分流式　・合流式（　系統）） ポンプ排水　・有（　・汚物　・雑排水　・湧水 ）　⊙無 建物外　放流先 （1）汚　水　⊙直放流下水管　・浄化槽 （2）雑排水　⊙直放流下水管　・浄化槽
消火設備の種類	・屋内消火栓設備　・スプリンクラー設備　・泡消火設備 ・連結散水設備　・連結送水管設備　・不活性ガス消火設備（・　）
ガ ス の 種 類	・都市ガス（種別　発熱量　MJ/m3　供給事業者　） ⊙液化石油ガス

（6 改修内容（改修工事のみ））

Ⅱ 工 事 仕 様
1 共通仕様
1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成３１年版）」（以下、「標準仕様書」という。）「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成３１年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成３１年版）」（以下、「標準図」という。）による。
2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用する。
なお、電気設備工事の工事仕様は（ ／ ）図、建築工事の工事仕様は（ ／ ）図による。
2 特記仕様
章は●印の付いたもの、項目は番号に○印のものを適用し特記事項のうち選択する事項は、・に○印のものを適用する。

章	項 目	特 記 事 項
●一般共通事項	● 材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）図面に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整理していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
	● 環境への配慮	（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝剤、断熱材、塗料、仕上剤は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	● 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ⊙要　・不要
	● 技能士の適用	⊙配管施工（配管工事）　・建築板金施工（ダクトの製作及び取付） ⊙熱絶縁施工（保温工事）　・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調器の据付及び整備）

●監督職員事務所　⊙設けない
・設ける　・既存の建物内の一部を使用する　・構内に設置する（・10　・20）㎡程度

● 足場その他　・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。
・本工事で設置とする。
・内部仮設足場等（ ・　種　・　種）
・外部仮設足場等（ ・　種　・　種）
・電気設備工事　⊙建築工事　で設置する。

● 工事用仮設物　構内につくることが（ ⊙できる　・できない）

● 工事用電力水その他　本工事に必要な工事用電力、水、及び官公署その他への諸手続などの費用は、すべて請負業者の負担とする。

● 埋戻し土・盛土　・根切り土の中の良質土（ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）
・山砂の類

● 機材の承諾図　機械設備工事機材承諾図様式集（令和元年版）によるほか、監督職員の指示による。

● 総合試運転調整　⊙本工事　・別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
・風量調整　⊙水量調整　・室内外空気の温湿度の測定　・騒音の測定
⊙飲料水の水質測定　・室内気流及びじんあいの測定

● 電動機　換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく、特記のないもの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてよい。

● 容量等の表示　（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

● 耐震措置　耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版（独立行政法人建築研究所監修）」による。
（1）機器の据付及び取付
設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に地域係数及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用水平震度

設置場所	機器種別	耐震安全性の分類 ・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	⊙一般の施設 重要機器	⊙一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※）	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※）	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】　（※１）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階、中間階とは地下階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器は次のものを示す。
・給水機器　・排水機器　・換気機器　・空調機器　・熱源機器　・防災設備
・監視制御装置　・危険物貯蔵装置　・火を使用する設備　・避難経路上に設置する機器
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

● 地中埋設標等　（1）地中埋設標　⊙要（図示の箇所）　・不要
（2）埋設標示用テープ　⊙要（排水管を除く）　・不要

● 保温　・共同溝内保温は、標準仕様書第2編の施工箇所（　）を適用する。
⊙多湿箇所（天井内共）は下記の場所とする。
・浴室（ユニットは除く）　・脱衣室　・厨房（天井内は除く）　・シャワー室

○ 塗装　下記の配管、ダクトは塗装を行う。
・屋外露出（　）
・屋内露出（　）

● 電線類　電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による。

○ 天井仕上区分　（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

● 施工調査　事前調査　⊙ 本工事　・　別途
調査項目　・
調査範囲　・　図示　⊙ 施工範囲　・
調査方法　・　図示　⊙ 既存図面調査及び目視調査　・
はつり作業及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員職員に報告する。

● 試験　既存配管を含む部分の試験
・不要　⊙要（ドレン管通水試験）

● 他工事又は他工種との取り合い　図面に特記なき場合は、工事区分表による。
ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。

○ 配管　（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
・呼び径 60Su 以下（SAS 322を満足した継手　）
（2）溶接部の非破壊検査　・不要　・要（検査の種類：　抜取率　%）

● 建設発生土の処理　・構内散きならし　・構内指定埋所へのたい積　・構外搬出　・再利用を図る

分　類	受 け 入 れ 場 所	搬出距離
建設発生土		

上記に示す受け入れ場所・搬出距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する。

○ 特定建設資材等の処理　本工事は「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律１０４号）の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。
ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議する。
分別解体・再資源化等の完了時に、以下の事項を書面にて監督職員に報告する。
（1）再資源化等が完了した年月日
（2）再生資源化等をした施設の名称及び住所
（3）再生資源化等に要した費用

分別解体の方法

工　程	作　業　内　容	分 別 解 体 の 方 法
・建設設備・内装材等	建設設備・内装材の取り外し（・有　・無 ）	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
・その他（　）	その他の取り壊し（・有　・無 ）	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

特定建設資材廃棄物の種類と再生資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再生資源化等をする施設の名称	所在地
・ｺﾝｸﾘｰﾄ		
・ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材		
・木材		
・ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ		

再生資源利用計画及び実施書は、建設副産物情報交換システム（コブリス）にて作成し提出すること。

○空気調和設備

○ 設計温湿度

	外　気 温度(DB)	外　気 湿度(RH)	屋　内 一般系統 温度(DB)	屋　内 一般系統 湿度(RH)	屋　内 温度(DB)	屋　内 湿度(RH)	屋　内 温度(DB)	屋　内 湿度(RH)
夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

○ 鋼板製煙道　（1）はいじん量測定口、伸縮継手及び排除口の位置は図示による。
（2）鋼板厚（・3.2mm　・4.5mm）

○ ダクト　低圧ダクト（　・　コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
・　アングルフランジ工法）とする。
・高圧１ダクトの適用範囲は図示による。

○ スパイラルダクト　図面に特記なき場合は低圧とする。

○ 風量測定口　取り付け箇所は図示による。

○ チャンバー　（1）内張りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、リターンチャンバー及びダクト系で消音内張りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。

○ ダンパー　（1）防煙ダンパー　復帰方式（・遠隔　・　）定格入力はDC24V以下とする。
（2）ピストンダンパー　復帰方式（・遠隔　・　）

○ 配管材料　（1）冷温水管　・凡例による　・
（2）冷却水管　・凡例による　・
（3）油管　・凡例による　・
（4）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管　・凡例による　・
（5）空調排水管　・凡例による　・
（6）冷媒管　・凡例による　・

○ 弁類　・図示による。（図面に特記の無き場合の呼び圧力は JIS 又は JV 5Kとする。）
・ステンレス配管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

○ 油面制御装置　制御盤には、標準仕様書によるほか（・遠隔警報　・電磁弁制御　・　）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

○ 保温及び消音内張　・通りダクト（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・外気取り入れ用ダクト（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・膨張管及び膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編3.1.4の温水管の項による。
・建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
・空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第２編3.1.5の排水管の項による。
・冷媒管の外装の種類は次による。
屋内露出箇所　・凡例による　・
屋外露出箇所　・凡例による　・

○ 集中リモコン・配線　複数のエアコンを集中管理するためのリモコン、配線及びその方式は、監督員の承諾を受けたうえで製造業者の標準仕様にて施工する。

●換気設備

○ ダクト　・低圧ダクト（　・　コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
・　アングルフランジ工法）とする。
・高圧１ダクトの適用範囲は図示による。
・厨房系統の排気用ダクトの材質は（・亜鉛鉄板　・ステンレス鋼板）製、板厚はダクトの長辺（・450以下は0.6mm、・451～1200は0.8mm）以上とし、アングルフランジ工法とする。

● スパイラルダクト　図面に特記なき場合は低圧とする。

○ 風量測定口　取り付け箇所は図示による。

○ ダンパー　空気調和設備の当該項目による。

○ シールする排気ダクトの系統　・浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統　・厨房系統

○ チャンバー　空気調和設備の当該項目による。

● 保温　・全熱交換ユニット用の外気取り入れ用ダクト（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
⊙多湿箇所（保温の厚さは50mm、範囲は図示による）
（・厨房　・湯沸室　）用の隠ぺい箇所の排気用ダクトの仕様は、h・(f)・IXとした、範囲は図示による。

○ 集中リモコン・配線　複数の全熱交換器等を集中管理するためのリモコン、配線及びその方式は、監督員の承諾を受けたうえで製造業者の標準仕様にて施工する。

○排煙設備

○ ダクト　・亜鉛鉄板　・鋼板（厚1.6mm）

○ 排煙口の形式　・図示による。

○ 排煙口開放及び復帰方式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要 ）

○ 排煙風量測定　建築設備定期検査業基準書２０１６年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

○自動制御設備

○ 中央監視制御装置　・有り（・新設　・既設 ）　・無し

○ 中央監視制御装置の構成・機能　図示による。

○ 電気計装用配線　使用する電線及びケーブルは原則としてＥＭ電線又はＥＭケーブルとする。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

●衛生器具設備

○ 和風大便器耐火カバー　・設ける（ピット内は除く）　・設けない

● 衛生器具ユニット　ユニットの配管材料は図示による。

●給水設備

● 配管材料　（1）量水器までの給水引き込み管（直結部分）水道事業者の指定 ⊙凡例による　・　）による。
（2）地中埋設配管　⊙凡例による　・
（3）一般配管　⊙凡例による　・

● 量水器　・親メーター（・貸与品　・　）　⊙子メーター（⊙買い取り　・　）

○ 量水器桝　・水道事業者指定品（・貸与品　・買い取り）　・標準図ＭＣ形

● 弁類　・図示による。（図面に特記なき場合の呼び圧力は、ＪＩＳ又はＪＶ ５Ｋ とする。）
・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
・水道直結部分の呼び圧力は、ＪＩＳ又はＪＶ １０Ｋとする。

● 管の地中埋設深さ　埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、車両通行帯（ ⊙300mm　・　）
その他の部分は、（ ⊙300mm　・　）以上とする。

○ 建物導入部配管　標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の ・（a）　・（b）　・（c）による。

○ 引込桝付金等　・別途工事　・本工事

● 水質検査　・残留塩素
⊙ 10項目（　）

●排水設備

● 配管材料　（1）屋内　汚水管　⊙凡例による　・
雑排水管　⊙凡例による　・
通気管　⊙凡例による　・
ポンプアップ管・凡例による　・
（2）屋外　第一桝まで　⊙凡例による　・
桝間　⊙凡例による　・

● 台所流し等の排水管　洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（ＲＦ－ＶＰ）でもよい。

● 満水試験継手　取付位置は図示による。

○ 放流桝付金等　・別途工事　・本工事

●給湯設備

● 配管材料　（1）給湯管　⊙凡例による　・
（2）膨張管　・凡例による　・

● 弁類　⊙図示による。（図面に特記なき場合の呼び圧力は、ＪＩＳ又はＪＶ ５Ｋ とする。）
・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

○消火設備

○ 配管材料　（1）屋内消火栓　一般　・凡例による　地中　・凡例による
（2）連結送水管　一般　・凡例による　地中　・凡例による

○ 保温　露出配管は標準仕様書第2編3.1.5の ｅ2・（ハ）・ⅤⅡによる。

○ 建物導入部配管　標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の ・（a）　・（b）　・（c）による。

○厨房設備

○ 機器の性能等　図示による。

●ガス設備

● 配管材料　・都市ガス　ガス事業者の供給規定による。
⊙液化石油ガス　(1)一般　(2)地中

● メーター　・親メーター（・貸与品　・　）　⊙子メーター　⊙買い取り　・　）

● 充てん容器　別途（⊙５０kg　・　kg　・　kg）×　本

● 集合装置　標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による　本組。

● 転倒防止　標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（ ・（ａ）　・（ｂ））による。

○ 電気防食　・要　・不要

○ 引込負担金等　・要（・別途工事　・本工事）　・不要

○浄化槽設備

○ 型式　・ユニット型　・現場施工型

○ 仕様等　図示による。

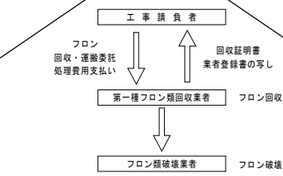
○撤去工事

○ 保温材　保温材は、配管・ダクトより分離する。

○ 支持金物等　ダクト・配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。

○ 発生材の処理　・金属類（　・機器類　・ダクト　・配管　・その他金属 ）の処理は
（　・管理者に引き渡し　・構外搬出適切処理 ）とする。
・特別産業廃棄物（　・　・　）の処理は
（　・別途　・構外適切処理 ）とする。
・石綿含有産業廃棄物（　・配管用成形保温材　・フランジ用ガスケット ）の処理は
（　・別途　・構外適切処理 ）とする。
・上記以外のもの（　・　・　）の処理は
（　・別途　・構外適切処理 ）とする。

○ 冷媒（フロン類）の回収　・本工事　・別途
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類を監督員に提出する。
・フロン回収行程管理表の写し
・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し



（別表－１）　他工事との工事区分表

工　事　内　容				機械工事	電気工事	建築工事
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内			
			屋内			
			屋上			
		テレビアンテナ基礎				
		避雷針の基礎				
		特記した基礎				
	機械関係	屋内設備				
		屋上設備（架台、アンカーボルトを除く）				
		屋外設備（　〃　）				
		架台・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ				
		特記した基礎				
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの		○		
	貫通スリーブ	補強を要しないもの				
	梁、床、壁	補強を要するもの		○		
	貫通部型枠	補強を要しないもの				
	軽量鉄骨下地壁・天井ﾎﾞｰﾄﾞ類の切込	補強を要するもの				
		補強を要しないもの（アウトレットボックスは除く）				
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの				
		補強を要しないもの				
	上記開口部の墨出し					
	上記開口部の補強					
	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）					
	OA フロアー配線器具用					
点検口	床、壁、天井					○
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む					
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤、タンク基礎					
床下水槽のマンホールふた						
ガス漏れ検知器						
消火栓組込み機器収納箱内配線整理用端子板						
湯沸室の排気フード						
換気扇	本体			○		
	取付枠			○		
流し台	本体（排水トラップ共）			○		
	水栓			○		
浴　槽				○		
身障者用便所手摺り						
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）					
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線					
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線					
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線					
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配線			○		
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配管				○	
	機器と付属操作スイッチ			○		
	機器と付属操作スイッチの埋込ボックス				○	
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線					
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線					
	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部への電源供給					
	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ					
	防火扉レリーズ					
	電極棒					
	配線ピット及びふた					
	別途機器などへの接続					
システム天井	ボード・ﾃﾞﾊﾞｰ					
	照明ライン設備プレート					
	空調ライン設備プレート					
電子錠	電気錠及び通電金具					
	テンキー及び制御盤					
浄化槽	杭工事					
	土工事					
	基礎工事					
	電気工事					
水道リモートメーターの配線						
水道リモートメーターの配線の結線と調査						

設計変更年月日	
１回	年　月　日
２回	年　月　日
３回	年　月　日

１級建築士　内田　要
大臣登録　第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：一　A3版：一
図面名	特記仕様書	設計	年　月　日

佐賀県競馬組合
１級建築士登録　第　号

図面番号　M／01

衛生　器具表

名　称	記号・品番	仕様・付属品	設置場所 きゅう員宿舎 A棟 4階建 24戸 3LDK	屋外	合計	備　考
洋風腰掛便器	防露便器、タンク	手洗無　床排水　壁給水式　普通便座　その他一式	6		6	
洋風腰掛便器	防露便器、タンク	手洗無　壁排水　壁給水式　普通便座　その他一式	18		18	
紙巻器	ステンレス製	154x109x82　ワンタッチ式	24		24	
洗面化粧台	間口 750ﾀｲﾌﾟ	間口７５０タイプ　シングルレバー洗髪シャワー水栓　止水栓x２個　３面鏡照明付　Ｓトラップ　その他一式	24		24	
壁掛手洗器	壁掛形	ハンドル式単水栓　止水栓　Ｓトラップ　その他一式	24		24	
ユニットバス	１４１８	１４１８タイプ　ｻｰﾓ水栓　シャワーセット　シャワーフック　タオル掛け　照明　ミラー ドア位置ずらし１００　浴槽(浴槽内握りバーなし)　収納棚　その他一式	24		24	
流し台	１８００	流し台　１８００Ｌ　コンロ台７５０　コンロ用バックガード　吊戸棚７００Ｈ　水切１段棚 その他一式	24		24	
洗濯機用防水パン	ＰＷＰ７４０Ｎ２Ｗ	７４０タイプ　ＰＰ樹脂製　横引トラップ（樹脂製）	24		24	
タオル掛け	ＹＴ５００Ｓ４	ブラケット：樹脂製　バー：アルミ製　496ｘ60ｘ26	24		24	
タオルリング	ＹＴ５１Ｒ	ブラケット：樹脂製　リング：ステンレス製　250ｘ57ｘ104	24		24	
洗濯機用横水栓	ＴＷ１１Ｒ	ワンタッチ式　壁用　緊急止水、逆止弁付	24		24	
吐水口回転型横水栓	Ｔ２００ＳＮＲ１３Ｃ	１３φ　節水コマ付		1	1	
混合水栓	ＴＫＳ０５３１６Ｊ	壁付シングル混合水栓（食洗器用分岐金具ＴＨＦ２２Ｒ）	24		24	
水栓柱	樹脂製	９００Ｌ　ＶＬＰ管入り　固定金具共		1	1	
ガス給湯器	２０号　ﾌﾙｵｰﾄﾀｲﾌﾟ	スリムタイプ　ＬＰＧガス対応　ＰＳ扉内設置形　高効率タイプ　２ヶ所リモコン ケーブル（５ｍ）　固定金具（耐震対応品）循環アダプター　ペアチューブ（5m）　その他一式	24		24	
ガスコック	単口	ＬＢ形　9.5φ　ヒューズ付	24		24	
水道集中検針盤		戸数25個用　露出形　内部電池対応		1	1	
量水器（水道ﾒｰﾀｰ）		電子式水道メーター 13mm　伸縮付ボール止水栓　メーター用伸縮継手　止水栓　逆止弁		25	25	ﾒｰﾀｰﾎﾞｯｸｽ内 24個 共用部 1個

設計変更年月日	
1回	年　月　日
2回	年　月　日
3回	年　月　日

１級建築士　内田　要
大臣登録　第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名　新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事

図面名　衛生 器具表

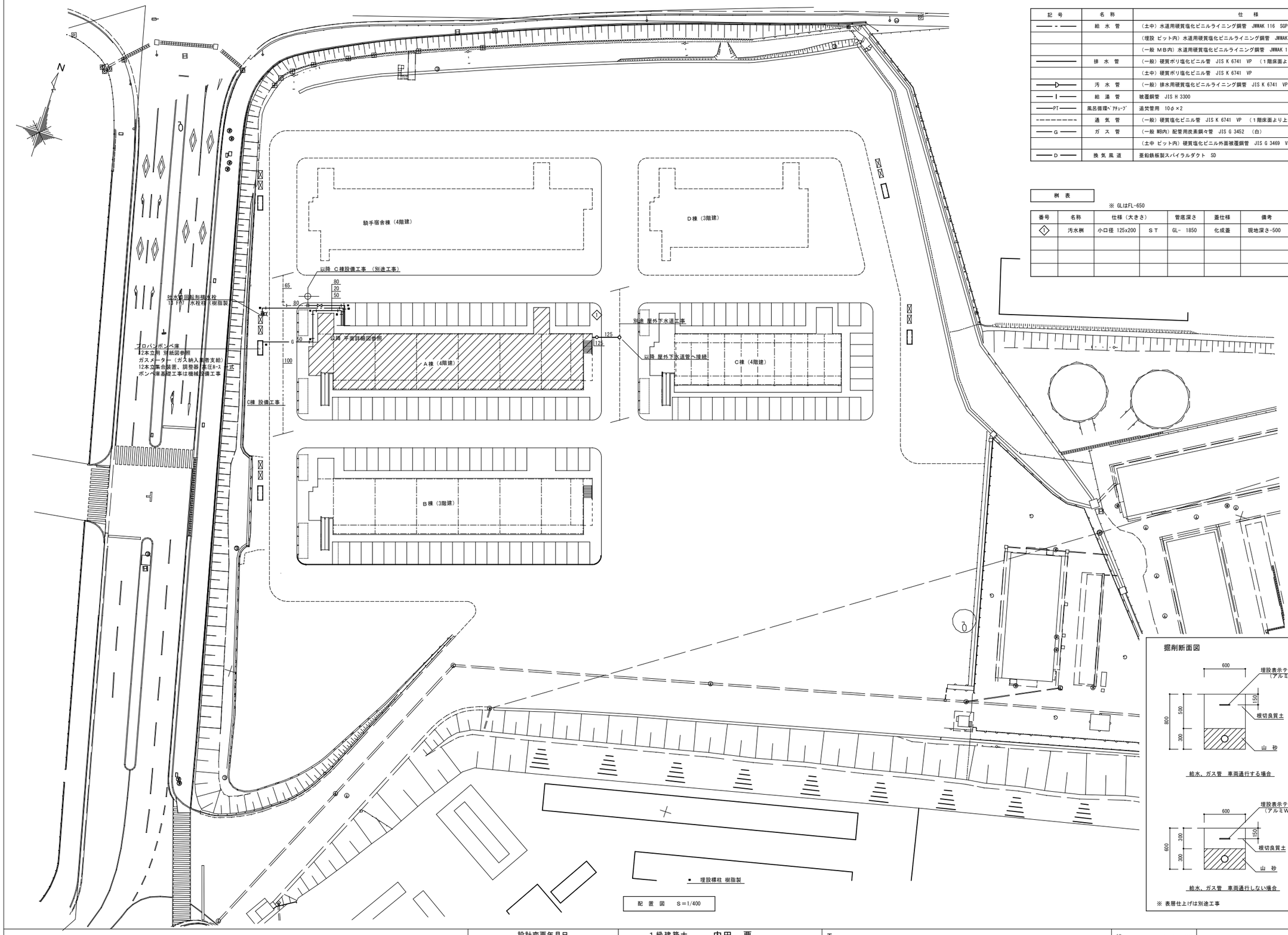
縮尺　A1版：一　A3版：一

設計　年　月　日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録　第　号

図面番号　M／02



凡 例

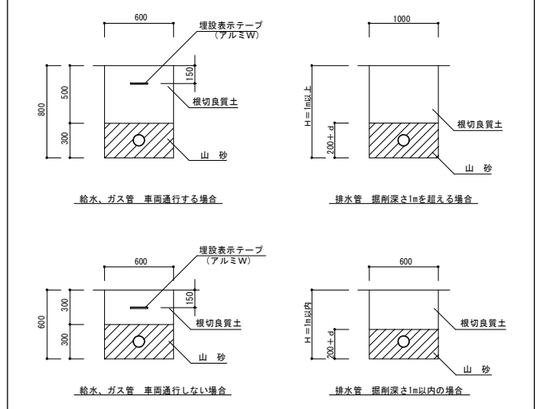
記 号	名 称	仕 様
——-——	給 水 管	（土中）水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWAK 116 SGP-VD-K
		（埋設 ピット内）水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWAK 116 SGP-VD-K
		（一般 MB内）水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWAK 116 SGP-VA-K
————	排 水 管	（一般）硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP （1階床面より上部は耐火二層管）
		（土中）硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
——D——	汚 水 管	（一般）排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JIS K 6741 VP （1階床面より上部はDVLP管）
——I——	給 湯 管	被覆銅管 JIS H 3300
——PT——	風呂循環ﾍﾞｱﾁｭｰﾌﾞ	油焚管用 10φ×2
- - - - - -	通 気 管	（一般）硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 VP （1階床面より上部は耐火二層管）
——G——	ガ ス 管	（一般 MB内）配管用炭素鋼々管 JIS G 3452 （白）
		（土中 ピット内）硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 JIS G 3469 VS
——D——	換 気 風 道	亜鉛鉄板製スパイラルダクト SD

桝 表

※ GLはFL-650

番号	名称	仕様（大きさ）		管底深さ	蓋仕様	備考
1	汚水桝	小口径 125x200	ＳＴ	GL- 1850	化成蓋	現地深さ-500

掘削断面図



※ 表層仕上げは別途工事

設計変更年月日			
1回	年	月	日
2回	年	月	日
3回	年	月	日

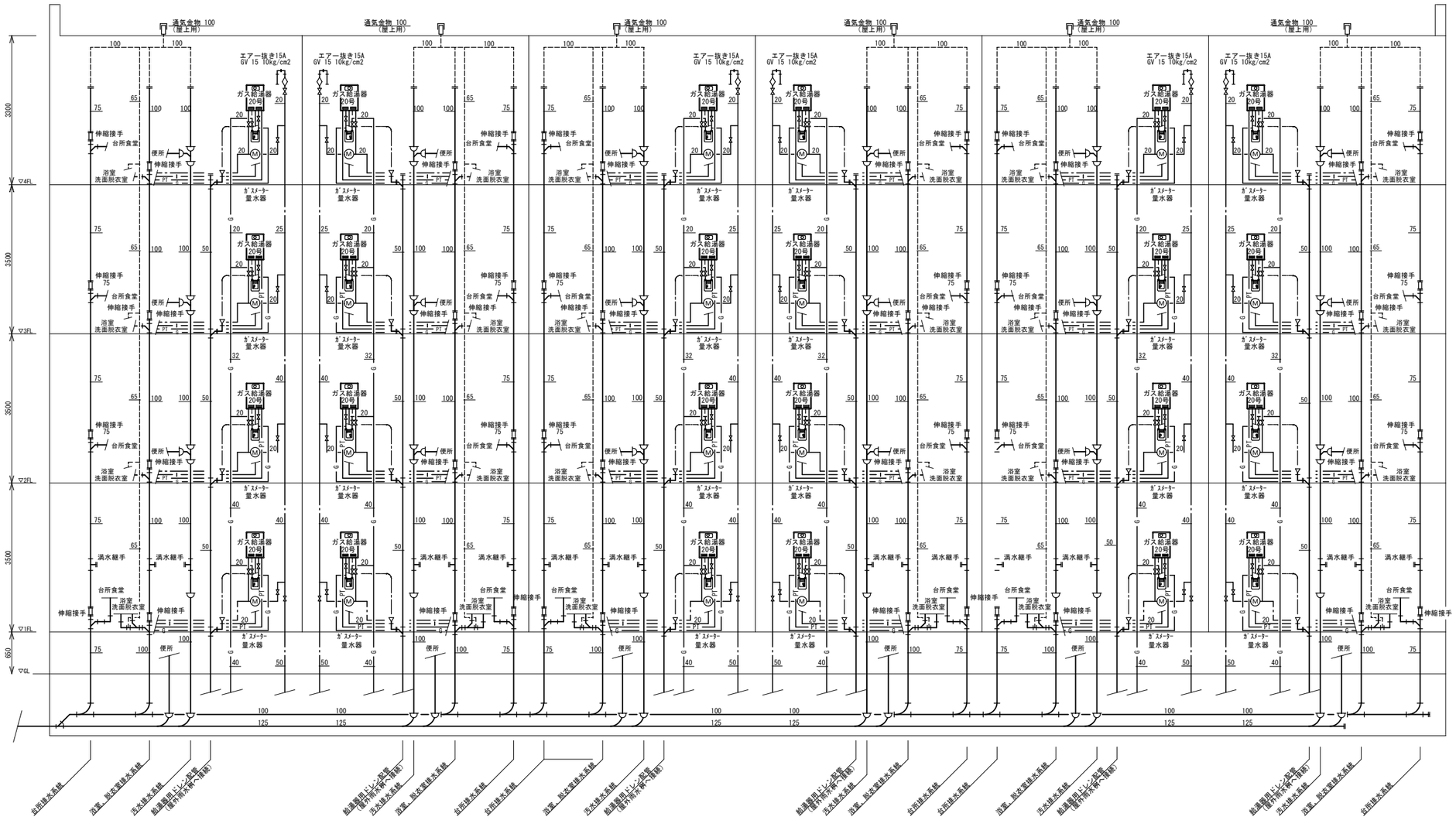
１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/400 A3版：S=1/800
図面名	配置図、桝表、凡例	設計	年 月 日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号 M／03



※ 台所、浴室 脱衣室 排水管系統及び通気配管は
1FL依り上部配管は耐火二層管とする

系 統 図

設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

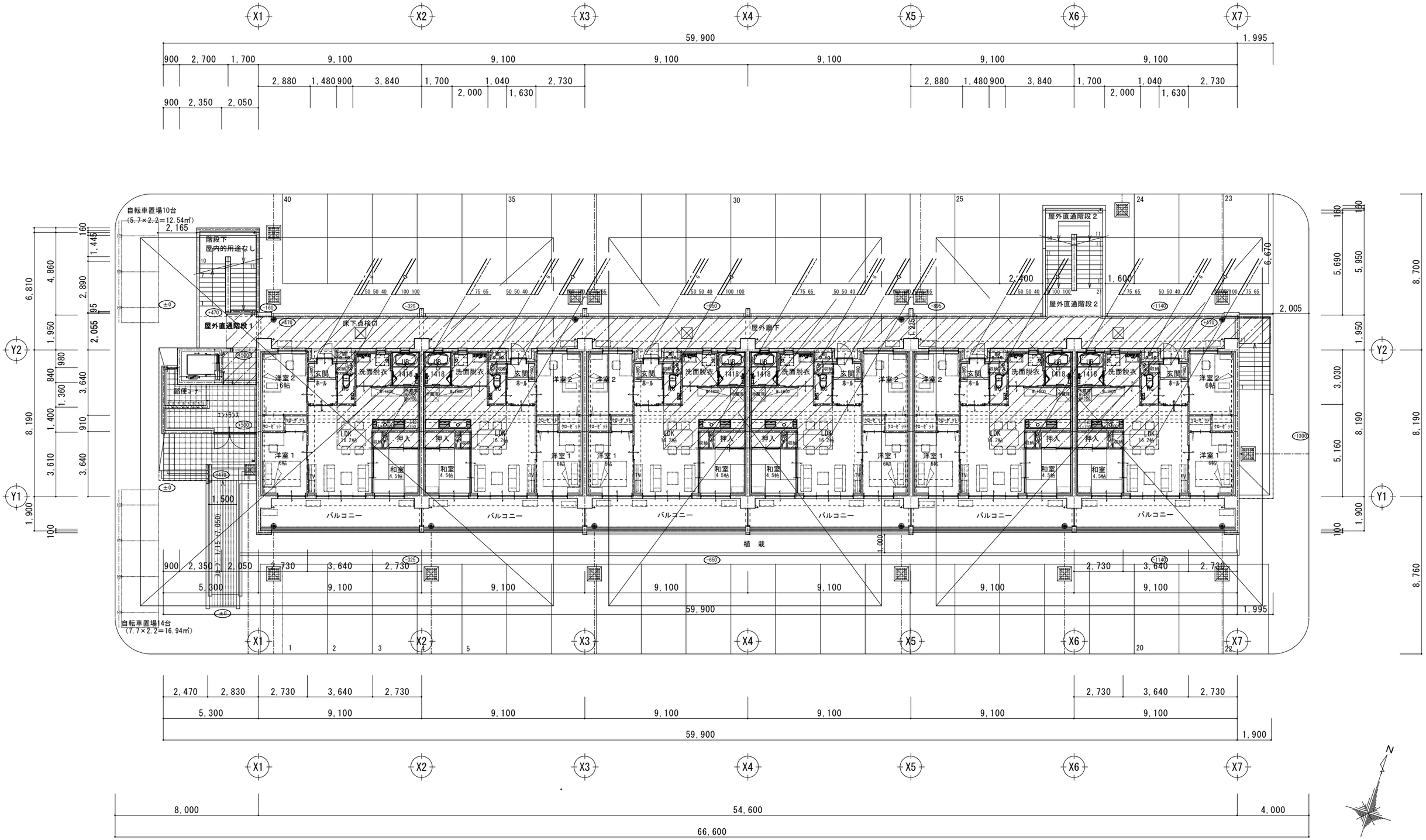
1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎A棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：一 A3版：一
図面名	衛生 系統図	設計	年 月 日

佐賀県競馬組合

1級建築士登録 第 号

図面番号 M/04



（衛生）1階 平面図　S＝1／100

	設計変更年月日
	1回　年　月　日
	2回　年　月　日
	3回　年　月　日

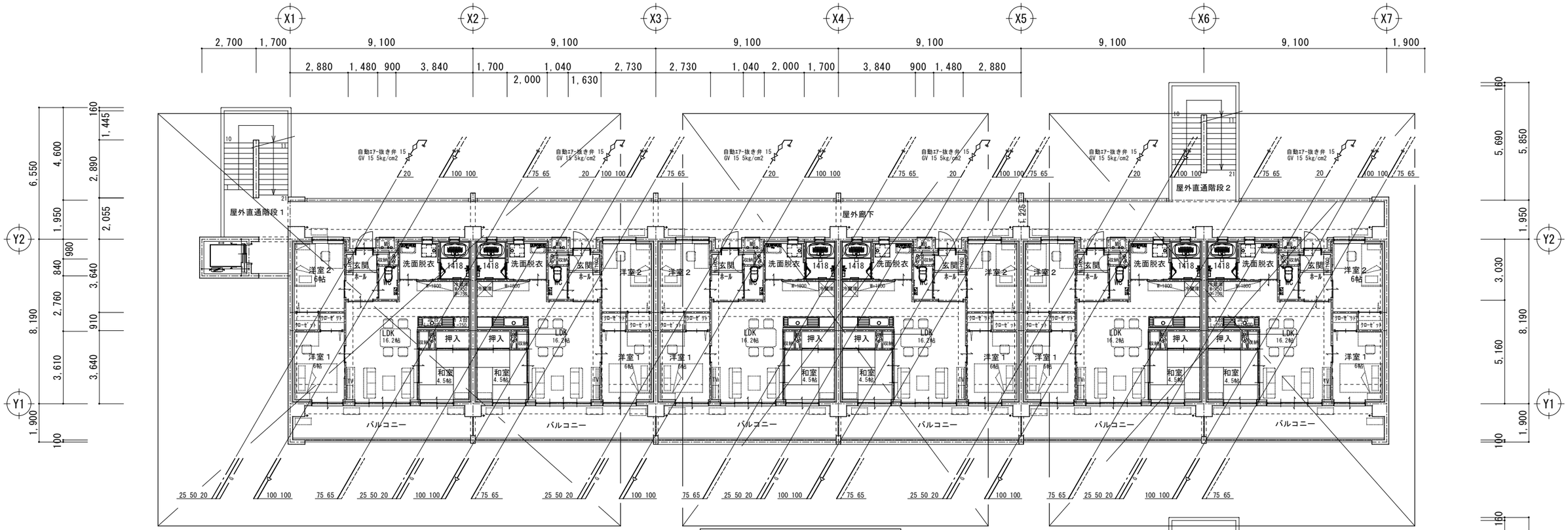
1級建築士　内田　要
大臣登録　第189294号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎A棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200
図面名	衛生　1階平面図	設計	年　月　日

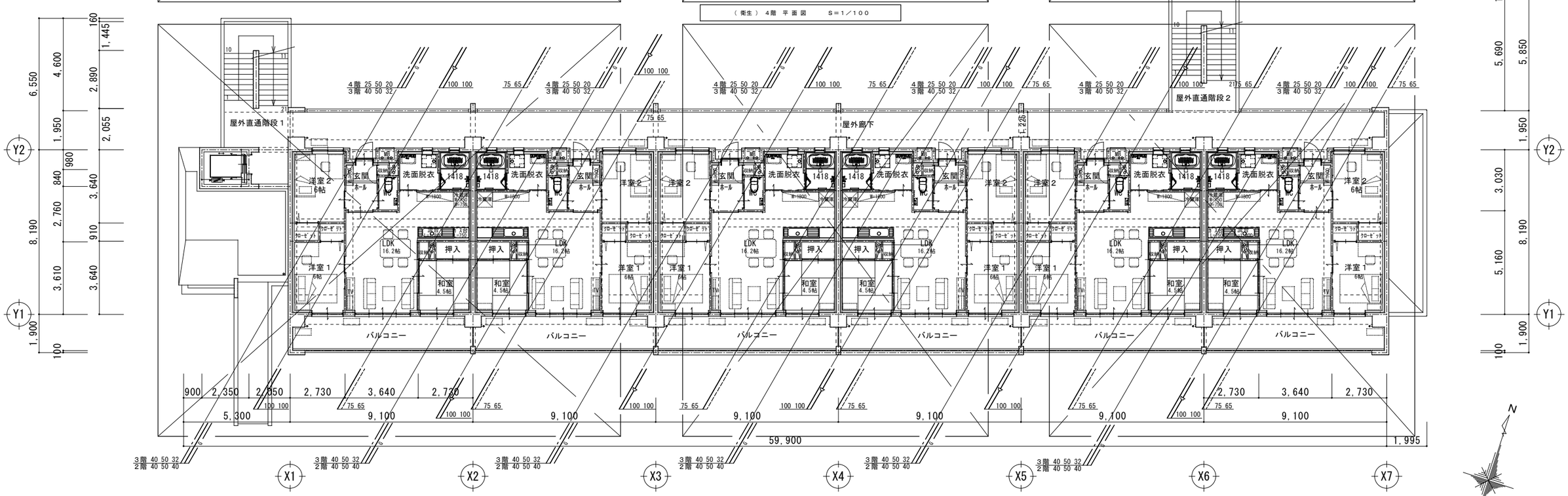
佐賀県競馬組合

1級建築士登録　第　　号

図面番号 M／05



（衛生）４階 平面図　　S＝1／100



（衛生）２，３階 平面図　　S＝1／100

設計変更年月日	
1回	年　月　日
2回	年　月　日
3回	年　月　日

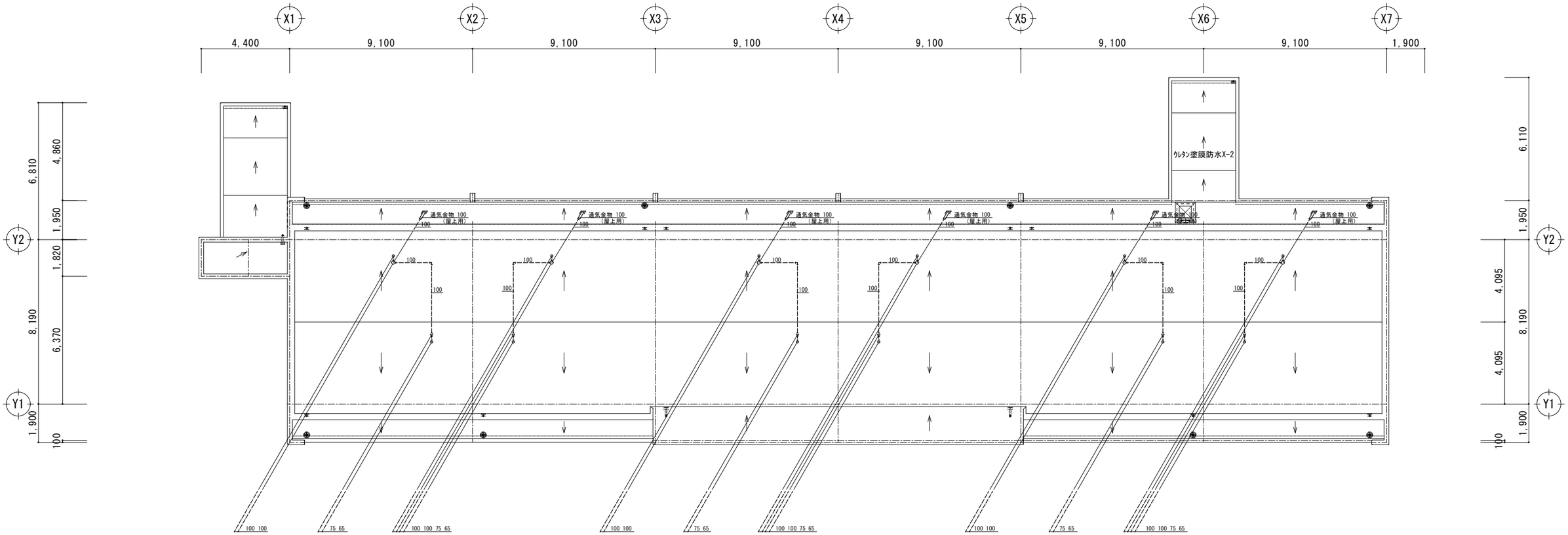
１級建築士　内田　要
大臣登録　第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200
図面名	衛生　２～４階平面図	設計	年　月　日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録　第　　号

図面番号　M／06



（衛生） R階 平面図　　S＝1／100

	設計変更年月日
	1回　年　月　日
	2回　年　月　日
	3回　年　月　日

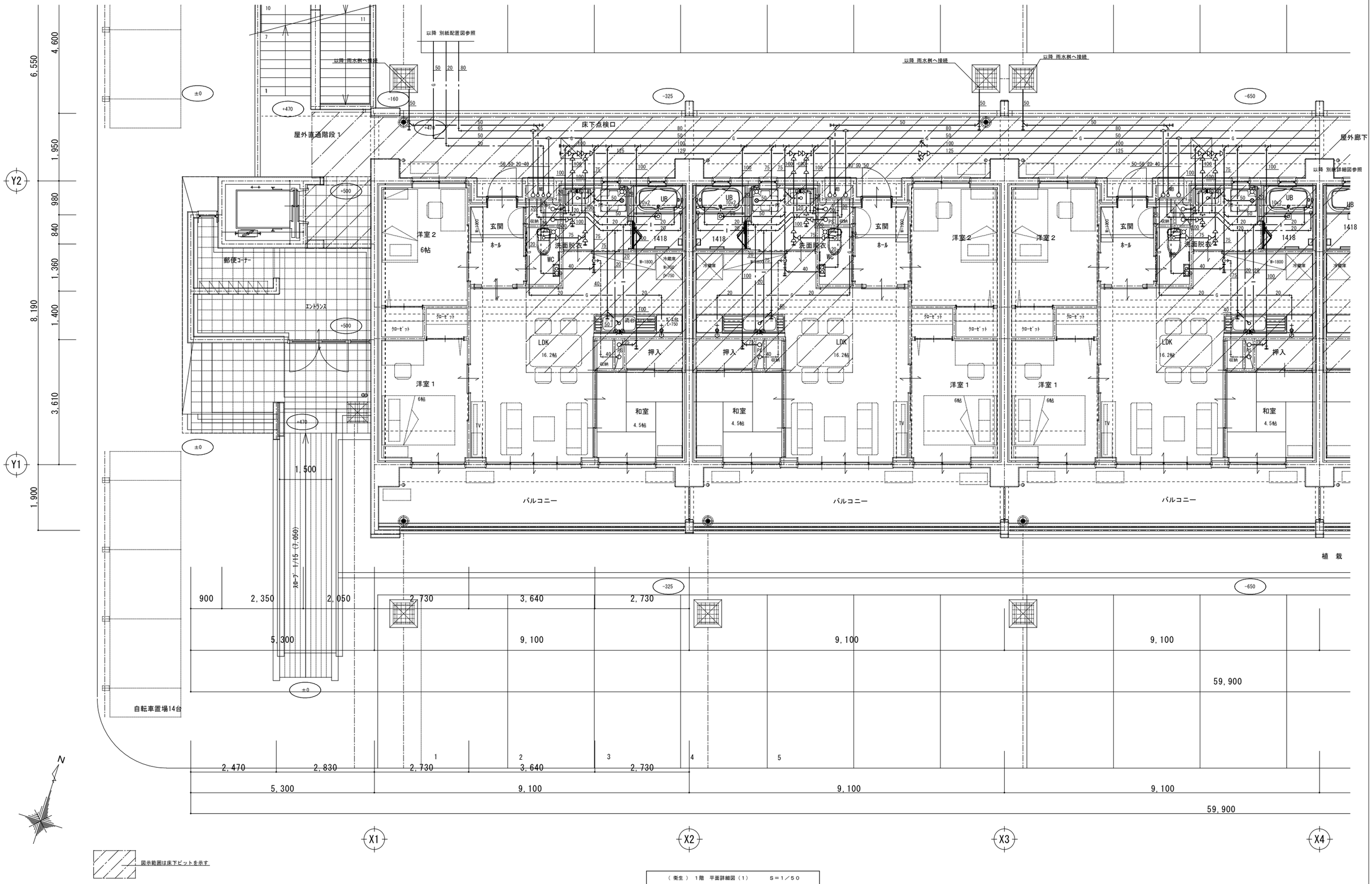
1級建築士　内田　要
大臣登録　第189294号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎A棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200
図面名	衛生 R階平面図	設計	年　月　日

佐賀県競馬組合

1級建築士登録　第　　号

図面番号 M／07



（衛生） １階 平面詳細図（１） Ｓ＝１／５０

設計変更年月日	
１回	年 月 日
２回	年 月 日
３回	年 月 日

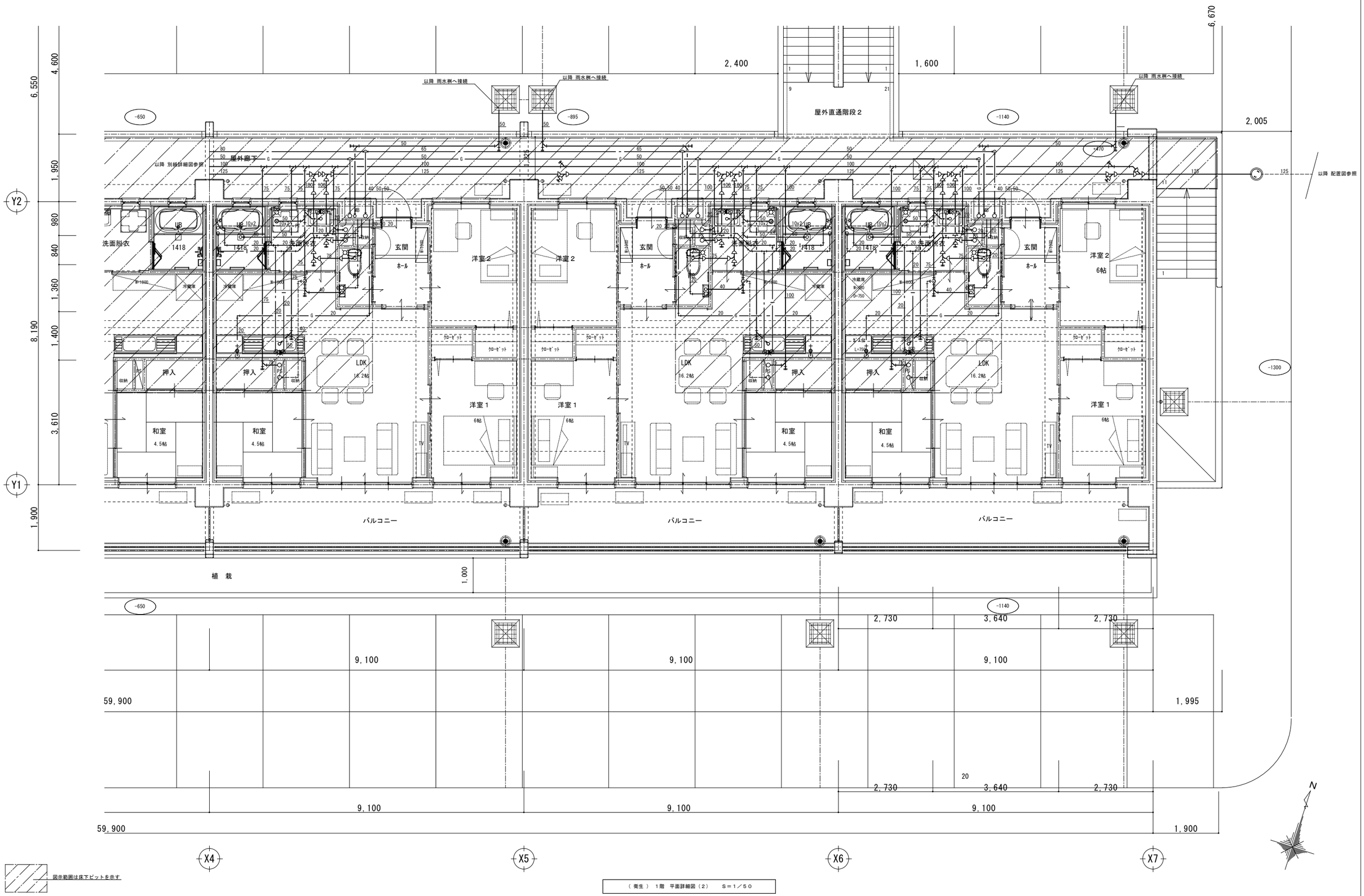
１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/50 A3版：S=1/100
図面名	衛生 １階平面詳細図（１）	設計	年 月 日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号 M／08



（ 衛生 ） １階 平面詳細図（２） Ｓ＝１／５０

設計変更年月日	
１回	年 月 日
２回	年 月 日
３回	年 月 日

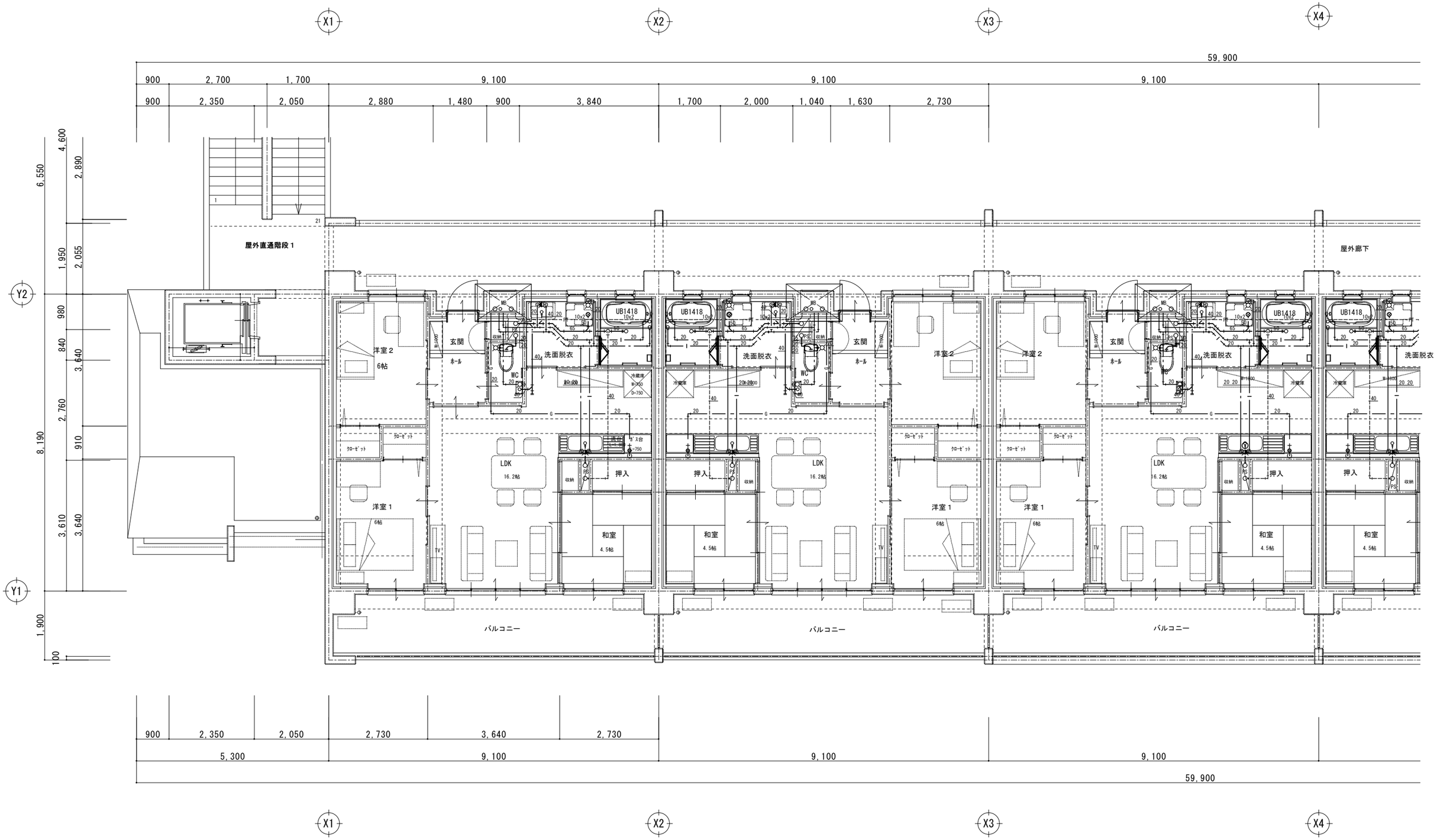
１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/50 A3版：S=1/100
図面名	衛生 １階平面詳細図（２）	設計	年 月 日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号 M / 09



（衛生） ２～４ 階 平面詳細図（１） Ｓ＝１／５０

設計変更年月日	
１回	年 月 日
２回	年 月 日
３回	年 月 日

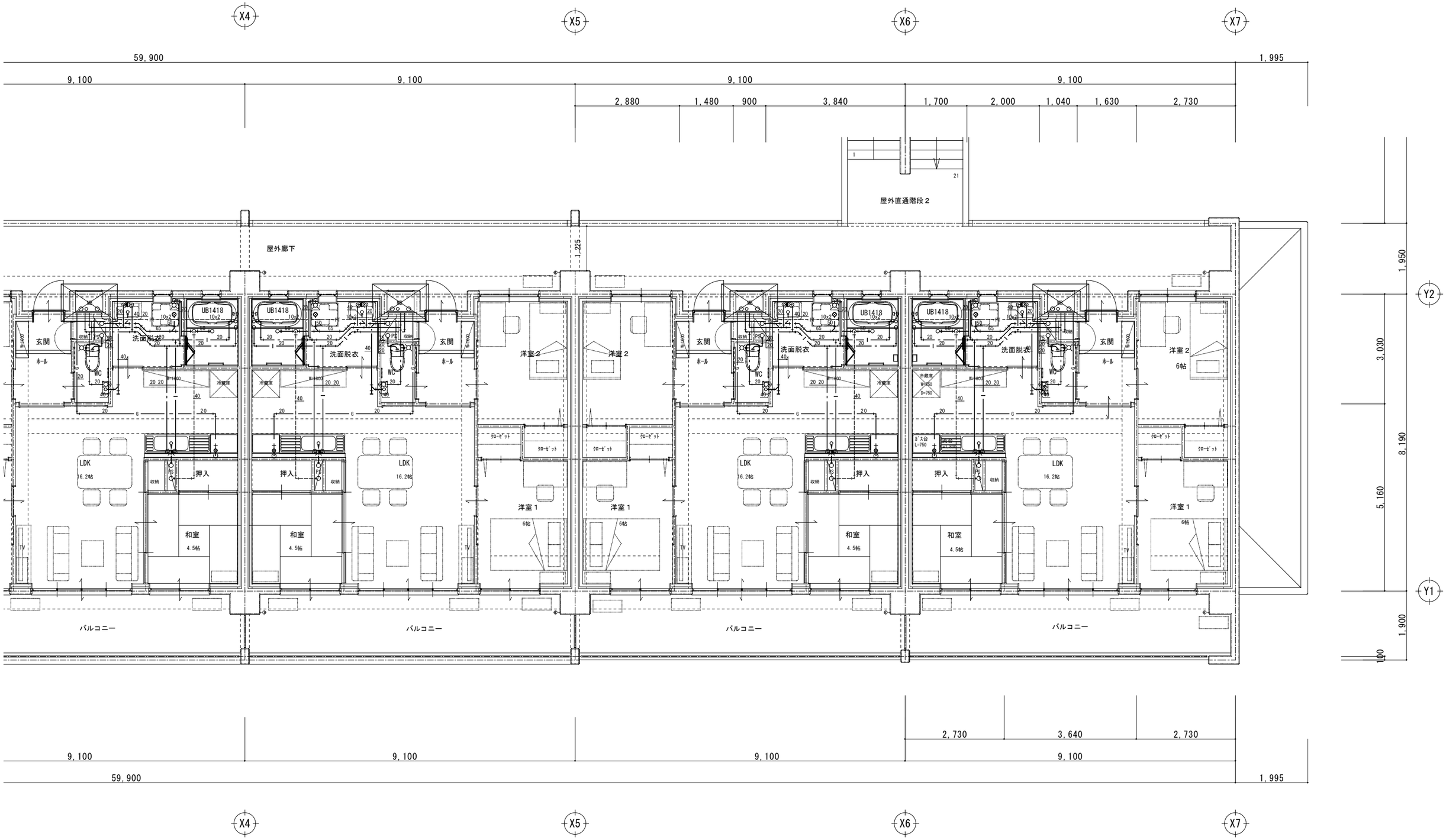
１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/50 A3版：S=1/100
図面名	衛生 ２～４階平面詳細図（１）	設計	年 月 日

佐賀県競馬組合

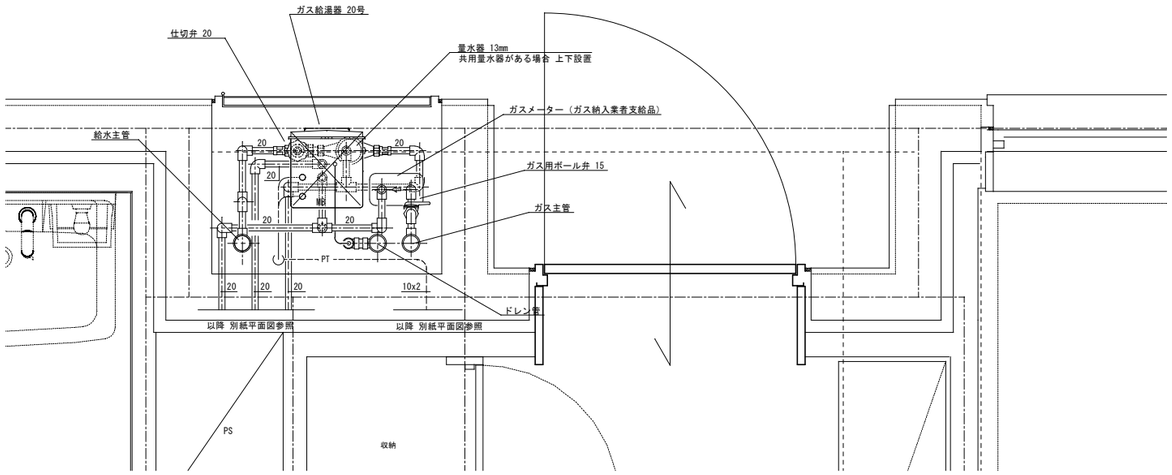
１級建築士登録 第 号

図面番号 M／10

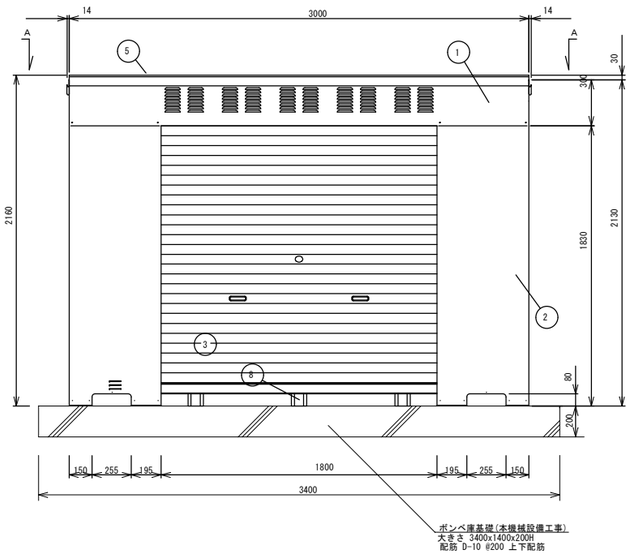


（衛生）２～４階平面詳細図（２）Ｓ＝１／５０

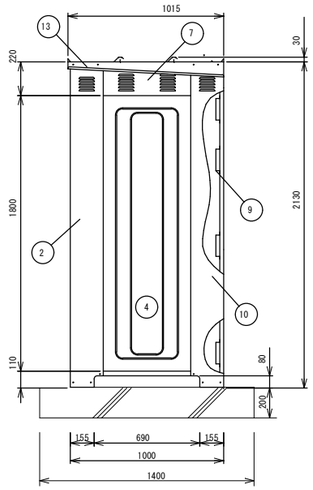
	設計変更年月日					
	１回　年　月　日	１級建築士　内田　要 大臣登録　第１８９２９４号 株式会社 渋江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目３番５０号 TEL 0952-24-7211	工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺 A1版：S=1/50 A3版：S=1/100	佐賀県競馬組合
	２回　年　月　日		図面名	衛生　２～４階平面詳細図（２）	設計　年　月　日	１級建築士登録　第　号
	３回　年　月　日					図面番号 M／11



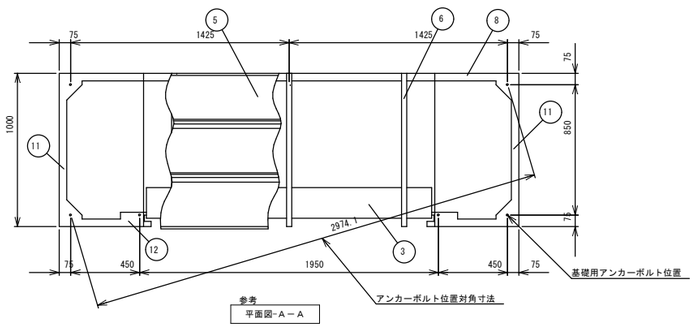
ＭＢ内 平面詳細図 S=1/10



参考
LPGボンベ庫 正面詳細図 S=1/20



参考
LPGボンベ庫 側面詳細図 S=1/20

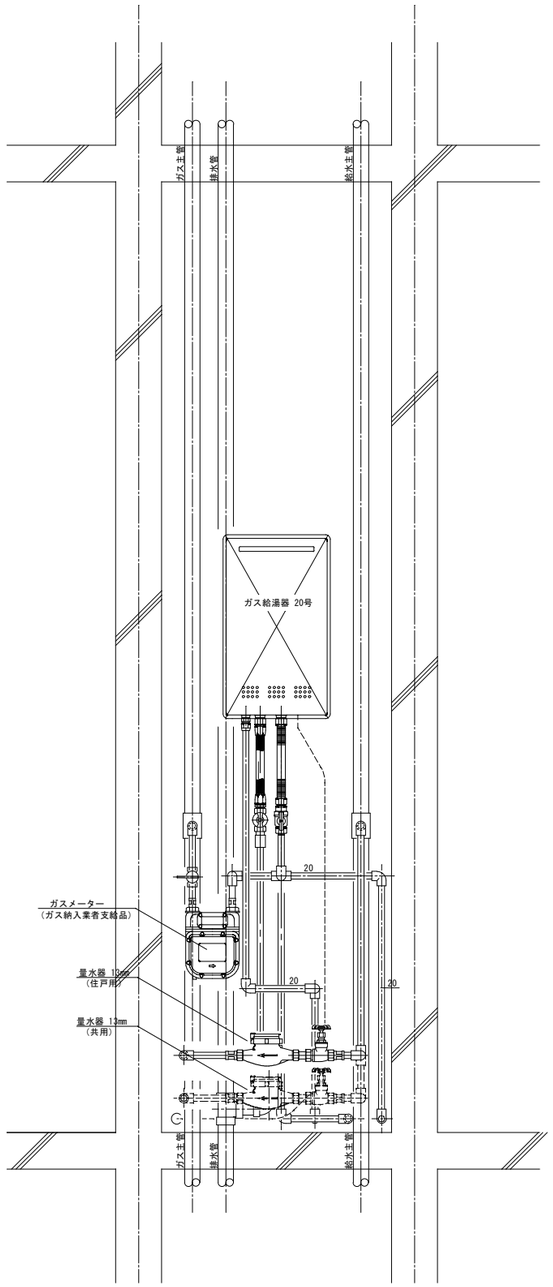


参考
平面図-Ａ－Ａ

ボンベ庫内内部部材
ガスメーター（ガス納入業者支給品）
ＬＰＧガス集合装置 50kgﾎﾞﾝﾍﾞ１２本立（６+６）用
調整器 弁類 高圧ホース 転倒防止鎖共
基礎工事は本工事（設備工事）

※ ガスボンベ庫は （株)ホクエイ製で参考とする。
同等品若しくはそれ以上とする。

番号	名品	数個	記事
1	前梁	1	めっき鋼板
2	前柱	右1左1	めっき鋼板
3	シャッター	1	めっき鋼板 t0.4
4	側パネル	2	高耐食めっき鋼板
5	屋根	前1中1後1	高耐食めっき鋼板
6	母屋	3	めっき鋼板
7	側梁	2	めっき鋼板
8	後土台	1	高耐食めっき鋼板
9	横桟	4	めっき鋼板
10	後柱	右1左1	めっき鋼板
11	左右土台	2	高耐食めっき鋼板
12	左右前土台	右1左1	高耐食めっき鋼板
13	屋根受け雨樋	右1左1	高耐食めっき鋼板



ＭＢ内 側面詳細図 S=1/10

	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名 新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事

図面名 衛生 ＭＢ内平面詳細図

縮尺 A1版：S=1/10 A3版：S=1/20

設計 年 月 日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号 M / 12

換気　機器表

記　号	名　称	形　式	仕様 風量（m3/H）（一般）	仕様 風量（m3/H）（24H）	仕様 消費電力（w）	仕様 騒音（dB）	仕様 電源	仕様 接続ﾀﾞｸﾄ	台数	設置場所	備　考
ＴＦ－３	天井換気扇	低騒音　サニタリー用　２室対応	180	---	23	34	単相100V	100	24	厩務員宿舎Ａ棟　24台　浴室	SUS製丸形ベンドキャップ 副吸込口グリル共
ＴＦ－５	天井換気扇	低騒音　サニタリー用 24時間換気対応形	120	90 静圧 17Pa	23	34	単相100V	100	24	厩務員宿舎Ａ棟　24台　ＷＣ	SUS製丸形ベンドキャップ ２４時間運転表示スイッチ共
ＬＦ－１	レンジフードファン	標準タイプ　W750　ブース形（深形） 本体スイッチ　照明付き	300	---	88	39	単相100V	150	24	厩務員宿舎Ａ棟　24台　Ｄ．Ｋ	SUS製深型フードベンドキャップ
給－１	給排気用グリル	150φ用　フィルター付　壁用	---	---	---	---	---	---	24	厩務員宿舎Ａ棟　24個	SUS製深型フードベンドキャップ
給－２	給排気用グリル	100φ用　フィルター付　壁、天井用	---	---	---	---	---	---	72	厩務員宿舎Ａ棟　24戸ｘ３個	SUS製深型フードベンドキャップ

２４時間換気計算書

室名	横寸法（m）	縦寸法（m）	室面積（m2）	平均天井高（m）	気積（m３）	必要換気回数（回／Ｈ）	必要換気量（m３／Ｈ）	換気種別	合計換気量（m３／Ｈ）	有効換気量 給気機（m３／Ｈ）	有効換気量 排気機（m３／Ｈ）	給気口	排気口	換気回数（回／Ｈ）
Ａ棟	24戸	3ＬＤＫ												
１～４階														
洋室１	---	---	9.94	2.5	24.85	0.5	12.5	第３種	12.5			○		
洋室２	---	---	9.94	2.5	24.85	0.5	12.5	第３種	12.5			○		
和室	---	---	7.45	2.5	18.625	0.5	9.4	第３種	9.4			○		
ＬＤＫ	---	---	26.60	2.7	71.82	0.5	36	第３種	36			○		
玄関・ホール	---	---	4.04	2.4	9.696	0.5	4.9	第３種	4.9					
ＷＣ	---	---	1.80	2.5	4.5	0.5	2.3	第３種	2.3		90			
				計	154.341			計	77.6	計	90			0.58

結果　必要換気量　77.6　m3/H　＜　機器排気量　90　m3/H

機器排気量が上回り　---　ＯＫ

機器排気量　90　m3/H　÷　室気積合計　154.3　m3　≒　0.58

機器排気量が室気積合計の　0.5　回/Ｈを上回る　0.58　回/Ｈで　---　ＯＫ

火気器具使用に伴う換気量計算

使用ガス種別　ＬＰＧガス　発熱量　50.2Mj/kg　理論排ガス量　0.93m3/kwh

使用ガス器具　ガステーブル　コンロ　２口　グリル付　全点火時　8.5kw　（参考）

式）　Ｖ　（必要換気量）　＝　Ｋ　（理論排ガス量）　x　Ｎ　（定数）　Ｑ　（発熱量）

＝　0.93　m3/kwh　x　30　x　8.5　kw

＝　237.2　≒　240　**m3/H**

結果　必要換気量　240　m3/H　＜　機器排気量　300　m3/H

機器排気量が上回り　---　ＯＫ

設計変更年月日	
１回	年　月　日
２回	年　月　日
３回	年　月　日

１級建築士　内田　要
大臣登録　第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名　新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事

図面名　換気 機器表、換気計算書

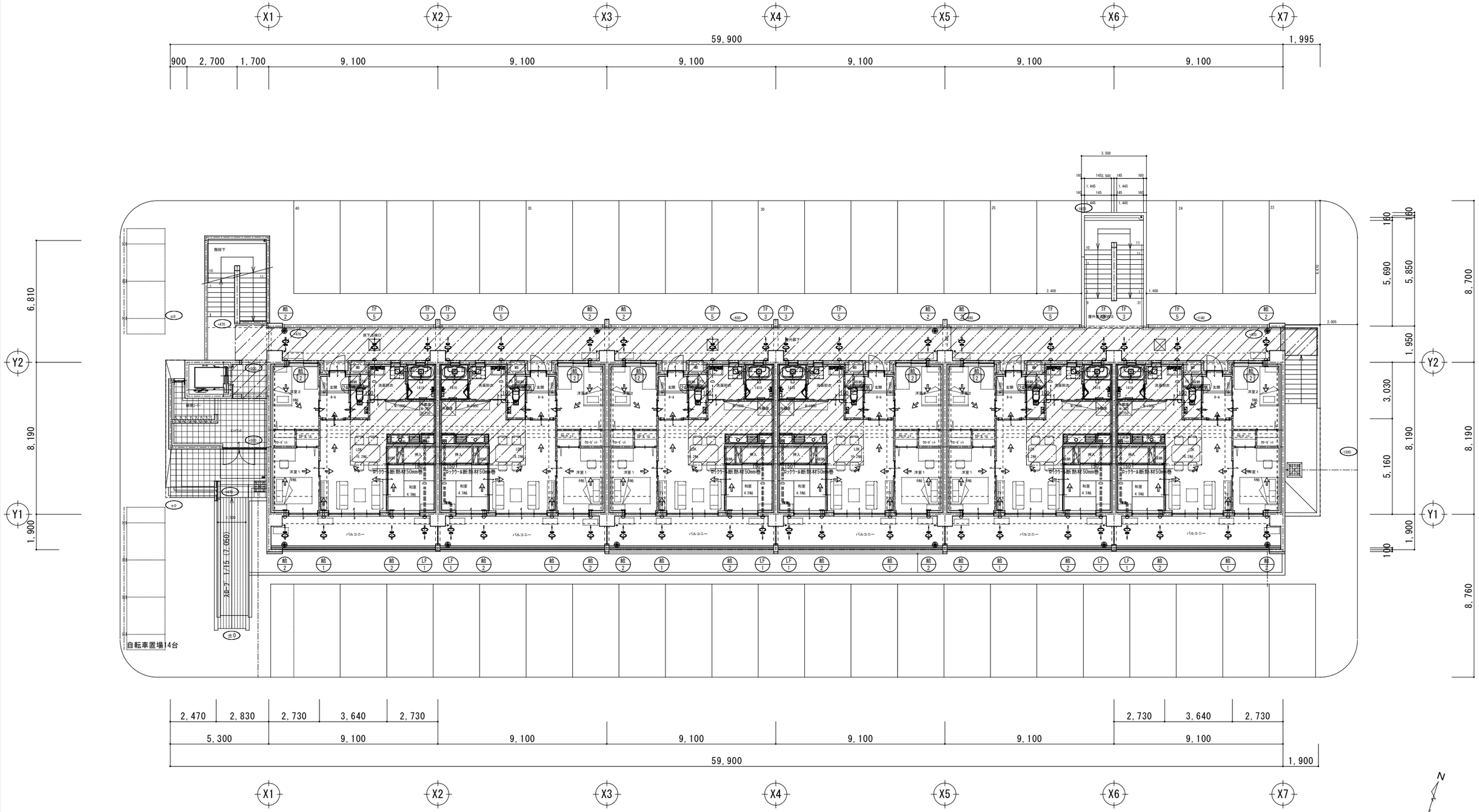
縮尺　A1版：一　A3版：一

設計　年　月　日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録　第　号

図面番号　M／13



凡 例

24H	２４時間換気対応機器を示す
⇦ ⇨	風の流れを示す
	給排気ｸﾞﾘﾙ壁用（ﾌｨﾙﾀｰ付） ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ ﾍﾞﾝﾄﾞ ｷｬｯﾌﾟ

換気 1階平面図

設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

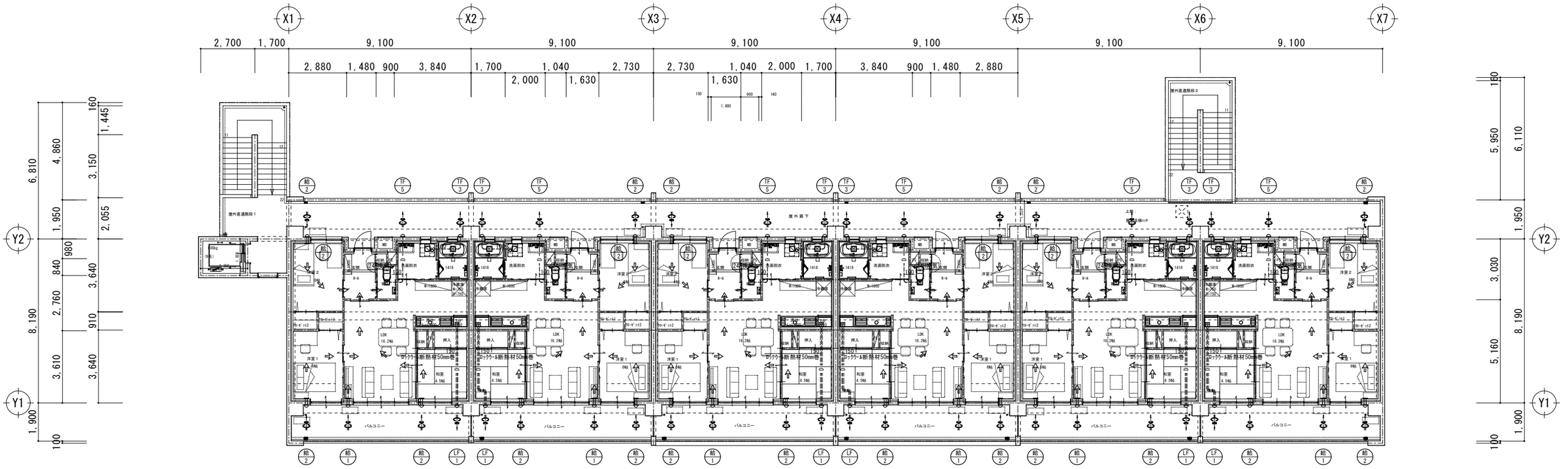
１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：1/100 A3版：1/200
図面名	換気 1階平面図	設計	年 月 日

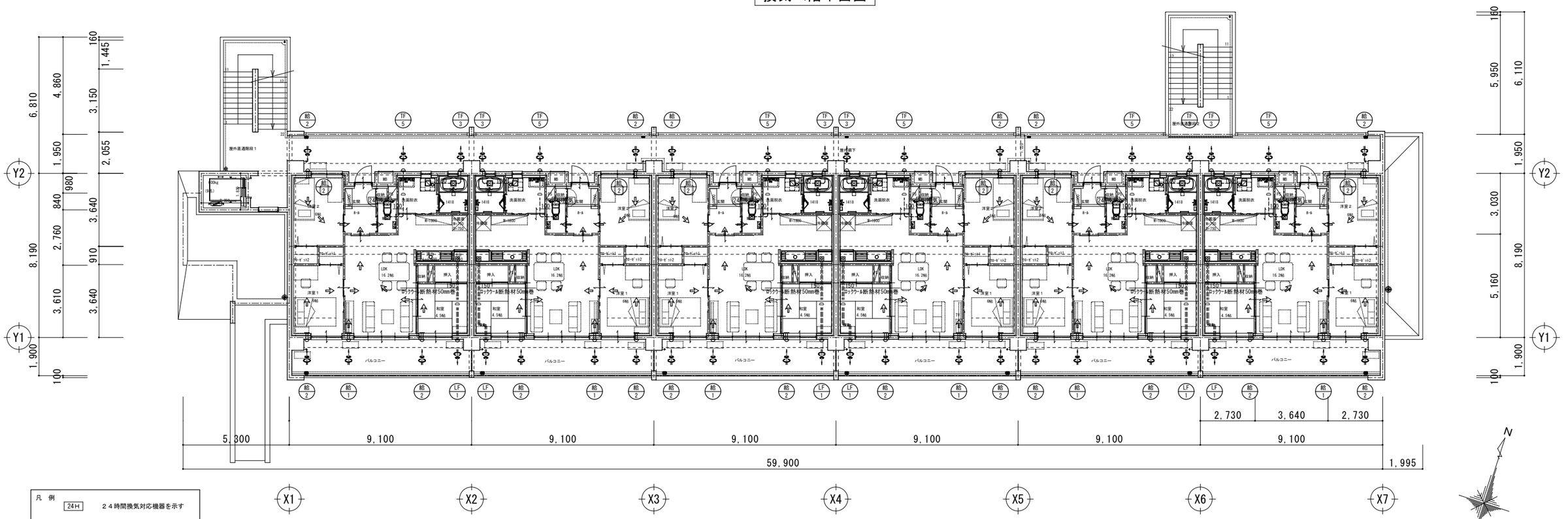
佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号 M/14



換気 4階平面図



凡 例

24H	２４時間換気対応機器を示す
⇦ ⇨	風の流れを示す
	給排気ｸﾞﾘﾙ壁用（ﾌｨﾙﾀｰ付） ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ

換気 2、3階平面図

設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

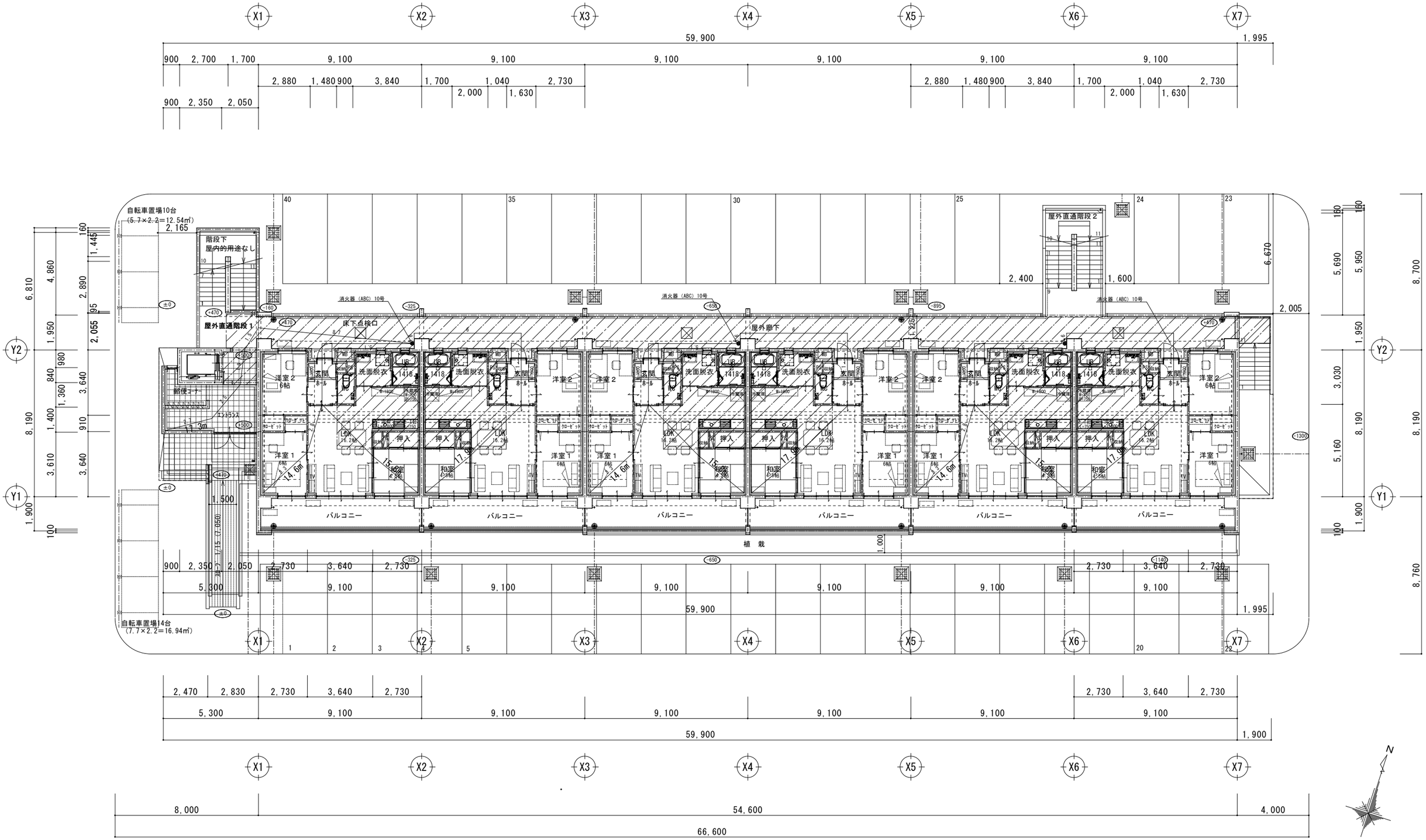
１級建築士 内田 要
大臣登録 第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：1/100 A3版：1/200
図面名	換気 ２階～４階平面図	設計	年 月 日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録 第 号

図面番号 M / 15



（消火）1階平面図　S＝1／100

設計変更年月日	
1回	年　月　日
2回	年　月　日
3回	年　月　日

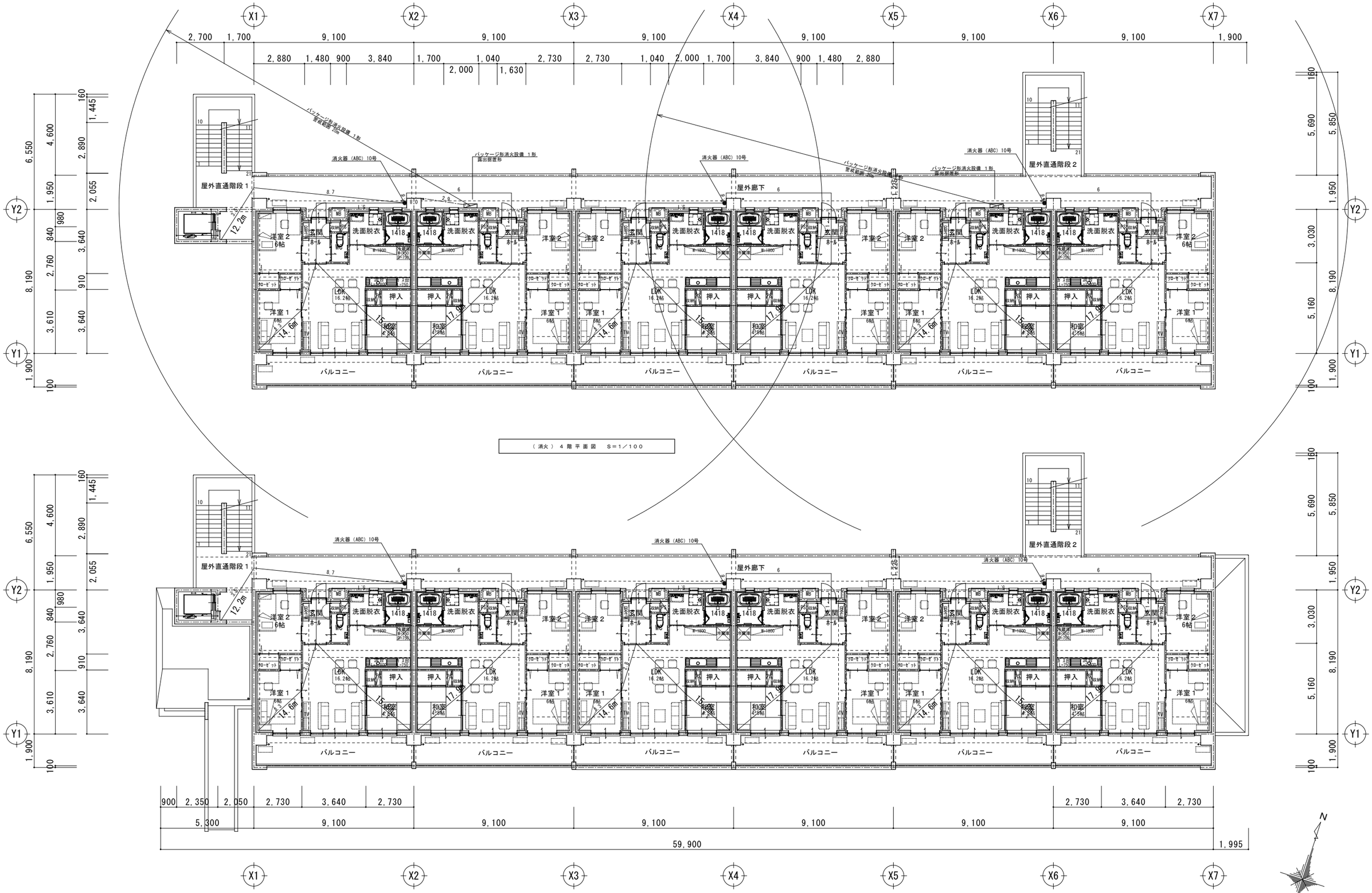
1級建築士　内田　要
大臣登録　第189294号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎A棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200
図面名	消火　1階平面図	設計	年　月　日

佐賀県競馬組合

1級建築士登録　第　　号

図面番号 M／16



（消火）４階平面図　S＝1／100

（消火）２～３階平面図　S＝1／100

設計変更年月日	
1回	年　月　日
2回	年　月　日
3回	年　月　日

１級建築士　内田　要
大臣登録　第１８９２９４号
株式会社 渋江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目３番５０号
TEL 0952-24-7211

工事名	新きゅう務員宿舎Ａ棟新築（機械設備）工事	縮尺	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200
図面名	消火　２～４階平面図	設計	年　月　日

佐賀県競馬組合

１級建築士登録　第　　号

図面番号　M／17